

糖尿病療養
指導士交流会

ざっくばらんに意見交換

「資格で活躍の場が拡大」

6月23日、H・E・C研
修センターにおいて「第3
回神奈川県糖尿病療養指導士
交流会」を開催。糖尿病の
療養支援に携わった際の疑
問や悩み、他職種との意見
交換を行うなど交流を深め
た。

当日は医師・看護師・薬
剤師・栄養士など47名が参
加。特別報告では、「神奈川
糖尿病療養指導士（KLCD
E）取得後の活動」をテー
マに、5名のKLCD E取
得者が「職場での自身の役
割（待遇）や「糖尿

病患者への対応」の
変化などについて報
告。

資格を取得したこ

とにより、日常業務
のほかに「インスリ
ン導入セミナー」や、
「ローレル指数の高
い児童への指導」を
任されるなど、医師
や患者さんから信頼
を得ることができ、
活躍の場が広がった

「など具体的な活動内容が
紹介された。
その後のグループディス
カッションでは「インスリ
ン導入を任せられるが、まだ
十分な知識、技術が無く不
安を感じている」、「職場で
の他職種とのコミュニケーションが難しい」など、日
常業務で感じる不安や悩み
についての相談や、「糖尿病
患者の口腔内ケア」や「各
地域での患者会の立ち上げ
方」についてのアドバイス
など、ざっくばらんに意見
交換。

他職種のKLCD Eと交
流ができたことで、「自分の
考えとは、違う面からの意
見が聞けて良かった」、「さ
らに良い療養支援をするに
は、どうすればいいか考え
ていきたい」、「KLCD E
の資格をどのように活かし
ているのか参考になった」
などの意見が寄せられた。



グループディカッションで意見交換を行った



活躍の場が広がった